

サステナビリティ取り組み事例

企業の EV 導入における統合型サービスの提供を開始
充電インフラと再エネの供給を含めたソリューションの提供をもってカーボンニュートラルの実現に貢献

関連するマテリアリティ



地球環境に対する
真摯な取り組み



パートナーシップによる
価値共創

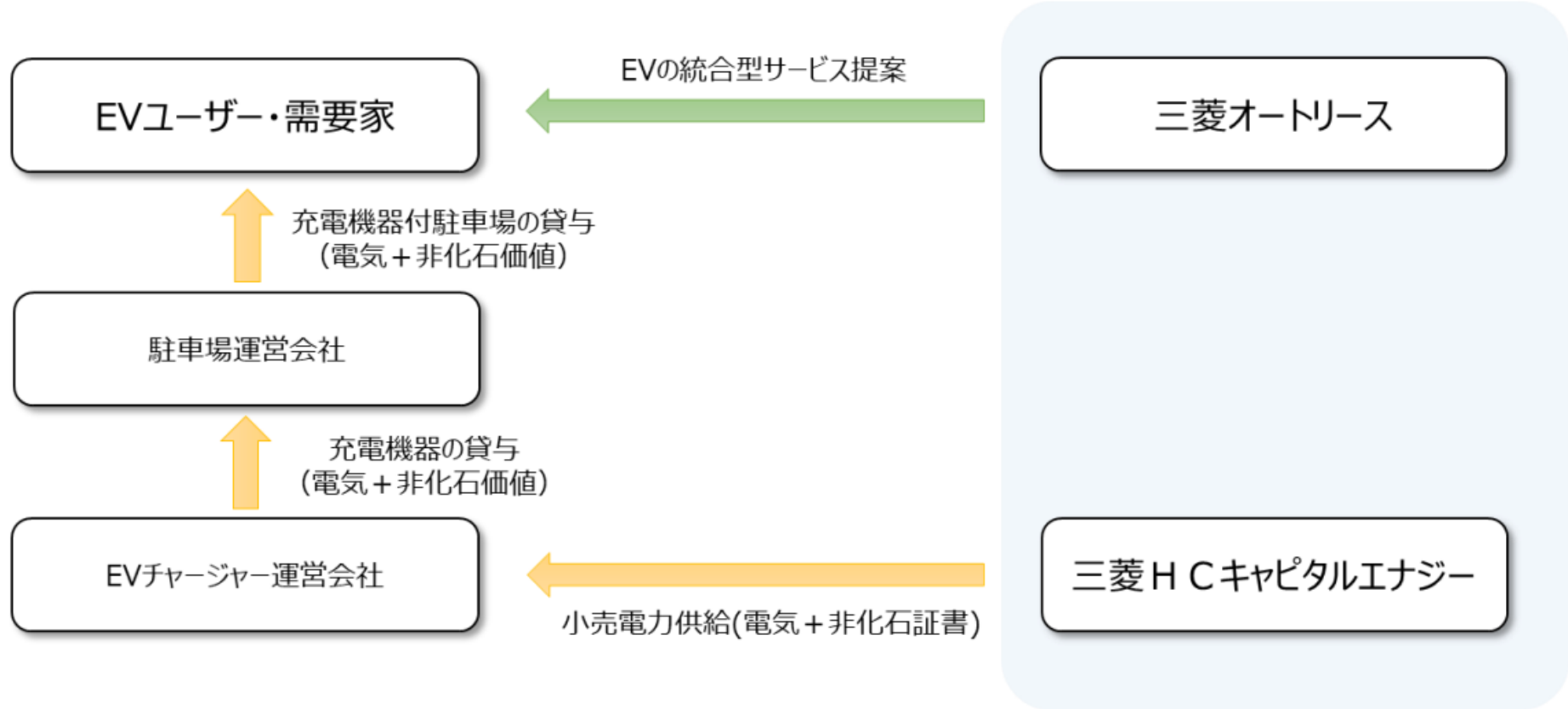
三菱H C キャピタル株式会社のグループ会社である三菱H C キャピタルエナジー株式会社および三菱オートリース株式会社は、EV・充電インフラ、さらには、その電源としての再生可能エネルギー（以下、再エネ）の供給を含めたEV導入・運用に必要な統合型サービスの提供をしています。

変革期にあるモビリティ業界では、環境負荷の低減や人流・物流の効率化、安全性の向上といった社会的課題の解決が求められています。なかでも、政府の戦略目標として、2035年までに、国内における乗用車の新車販売において電動車100%の実現が定められたことから、カーボンニュートラルの達成に向けたEVの普及は業界全体の重要課題となっています。

このようななか、三菱H C キャピタルグループは、初期費用なしで、EV、充電機器の導入、運用、その設置が可能な駐車場および再エネの供給を統合的に提案するサービスを提供することで、企業のEV導入およびCO2削減に貢献します。

本サービスでは、三菱H C キャピタルエナジーにて、同社としてはじめてとなる小売電気事業を開始、非化石価値のある電力供給を行います。三菱オートリースは、EVのリースおよびフリートマネジメント機能の提供を担い、パートナー企業とともにEV導入の支援を行います。

三菱H C キャピタルでは、本サービスを利用することで、中四国支店が使用する営業車のEVへの切り替え、非化石価値のある電力の受給をスタート、その後、全国の支店への展開を図ります。また、これらのサービスに加えて、車載バッテリーの再利用、三菱H C キャピタルエナジーの発電所を活用した再エネの供給など、EV導入・運用に必要な機能の段階的な拡充を図ることで、当社のみならず、お客さまのCO2排出量の削減に貢献していきます。



三菱H C キャピタルグループにおいては、再エネ発電所の開発や管理、その運用を手掛けており、国内では業界トップクラスの約1.2GW*の運転開始済み再エネ電源を保有しています。三菱H C キャピタルエナジーは、本件を契機に、同社が開発・保有する再エネ発電所を活用した小売電気事業として、非化石価値のある電力の供給を推進していきます。

※ 2023年6月末時点。持分出力数。